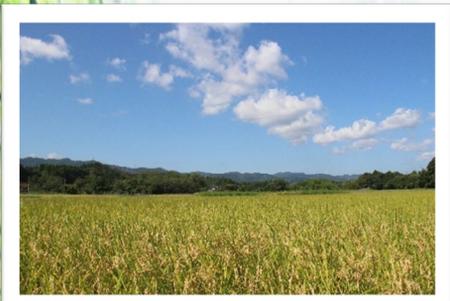


東日本大震災及び原子力発電所事故からの 復興への取組と現状



— 令和4年11月 —

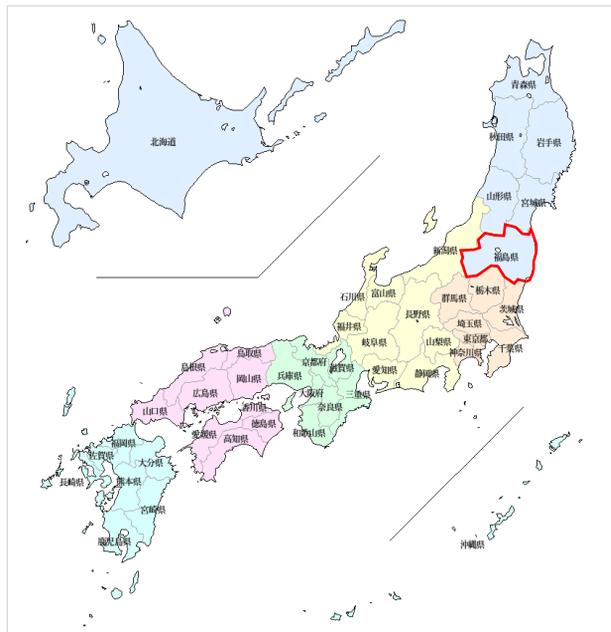


福島県 富岡町

～未来へと つながれ
ひろがれ 富岡町～



『とみっぴー』
富岡町公式マスコットキャラクター



自然豊かな町

福島県浜通り地方の中央に位置
太平洋と阿武隈山地との間に広がる
面積68.39km²、人口16,000人の町
年間降水量1,533mm/年間平均気温13.8℃
温暖で過ごしやすい地



町の木【サクラ】

明治33年、夜の森が開拓された際に植えられた桜が今では町のシンボルとなった。毎年開花と同時に見物客で賑わう。



町の花【ツツジ】

全国花いっぱい「花と緑の駅」コンクールで日本一に輝いたJR常磐線夜ノ森駅のツツジは、旅人の目を楽しませる。



町の鳥【セキレイ】

水辺に生息するセキレイは、富岡川の清らかな流れとチチチッと爽やかなさえずりが人々の心を和ませる。



人々が往来する町

【南北】

- JR常磐線（富岡駅、夜ノ森駅）
郡内で最も多い乗降者数
(H22年間約30万人)
- 常磐富岡I.C
・再開通 (H26.02.22)
・全線開通 (H27.03.01)
- 幹線道路 国道6号

【東西】

- 県道 小野・富岡線

充実した都市機能の町

- 国機関 裁判所、労基署、職安、営林署
- 県機関 富岡土木事務所（前身は明治の郡役所）、双葉農業普及所、原子力立地振興事務所
- 警察署 双葉警察署（H22富岡・浪江警察署統合）
- 金融機関 6行7店（東邦、福島、大東、労金、あぶくま信金、相双信組）
- 医療機関 初期救急医療「今村病院」と6医院（内科、外科、整形外科、眼科）
- 郵便局 2局
- 商業施設 ヨークベニマル2店舗、家電量販店、ホームセンター、ドラッグストア
- 電気関係 東京電力(株)浜通り電力所、(株)東北電力、NTT等の支店
- 教育関連 小中学校4校と“双葉地区教育構想”



東日本大震災と原子力災害

地震「震度6強」 津波「21.1メートル」 そして、「原子力発電所事故」

東日本大震災の概要

【発生時刻】

平成23（2011）年3月11日（金）
14時46分

【震源】

三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東
130km付近、深さ約24km

【地震の規模】

マグニチュード9.0
（国内観測史上最大規模、1990年以降世界4番目の規模）

【震度】

宮城県北部の栗原市で最大震度7が観測されたほか、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などで震度6を観測。北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測された。

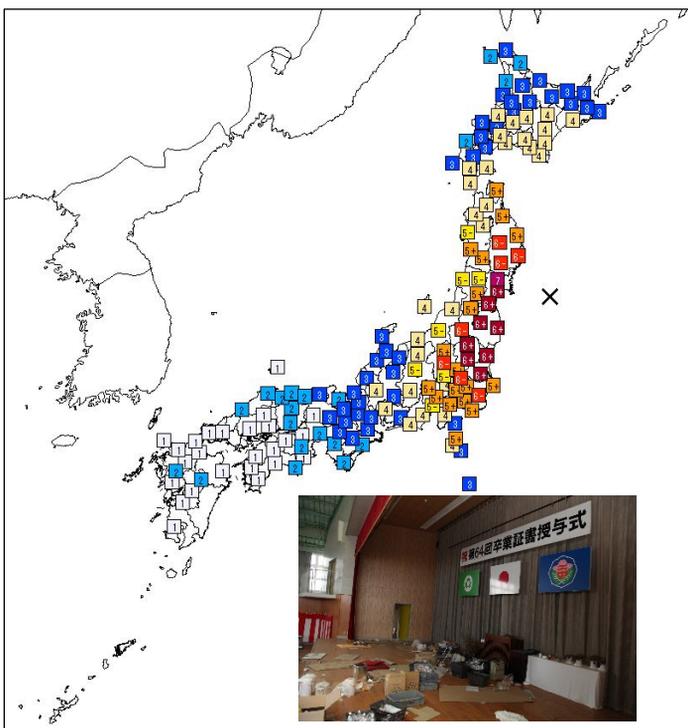
【津波】

岩手県、宮城県、福島県を中心とした太平洋沿岸部を巨大な津波が襲った。福島県相馬市9.3m以上、岩手県宮古市8.5m以上、大船渡市8.0m以上、宮城県石巻市7.6m以上などが観測されたほか、宮城県女川漁港で14.8mの津波痕跡も確認された。遡上高（陸地の斜面を駆け上がった津波の高さ）では、国内観測史上最大の40.5mが観測された。



【富岡町の被害】

- 21.1メートルの津波襲来
- 震度6強の揺れ
- 死者（行方不明者含む）24人



東日本大震災と原子力災害

平成23 (2011) 年

3/11 14:46 東北地方太平洋沖地震 発生
 富岡町災害対策本部 設置
 15:30 津波襲来
【第1回目の避難：町内の集会所や体育館】
 19:03 福島第一原発 原子力緊急事態宣言 発令
 21:23 第一原発半径10km圏内 屋内退避指示 発令

3/12 05:32 第一原発半径10km圏内 避難指示 発令
 富岡町・川内村災害対策合同本部 設置

【第2回目の避難：川内村】
 15:36 福島第一原発1号機 水素爆発
 18:25 第一原発半径20km圏内 避難指示 発令

3/14 11:01 福島第一原発3号機 水素爆発

3/16 富岡町民・川内村民の避難
【第3回目の避難：郡山市（ビッグパレットふくしま）】

4/22 福島第一原発半径20km圏内 警戒区域に設定
 (富岡町 全域)



川内村に向かう避難の列



富岡町・川内村災害対策合同本部



ビッグパレットふくしまでの避難生活



誰もいなくなったまち



立入が禁止され修繕もできない道路



住宅

警戒区域の設定に伴う

- ・修繕などの管理が不可能
- ・鳥獣や小動物による被害
- ・窃盗・盗難の発生
- ・喚起ができないためのカビ

など、被害が拡大

【被害調査】

- 一次調査（外観）
- 二次調査（屋内）
- 三次調査（屋内再調査）



壊滅した富岡漁港

<令和4年4月1日時点>

全壊（50 <small>棟</small> 以上）	420棟
大規模半壊（40～49 <small>棟</small> ）	984棟
半壊（20～39 <small>棟</small> ）	3,078棟
一部損壊（20 <small>棟</small> 未満）	1,214棟
損壊なし	201棟
合計	5,897棟



バスによる一時帰宅



市街地に出没する牛やイノシシ



放置される漁船

住民避難・町外生活

※令和4年11月1日現在

※住民基本台帳（震災前比）

○人口 15,917人→**11,805人**（△4,112人）

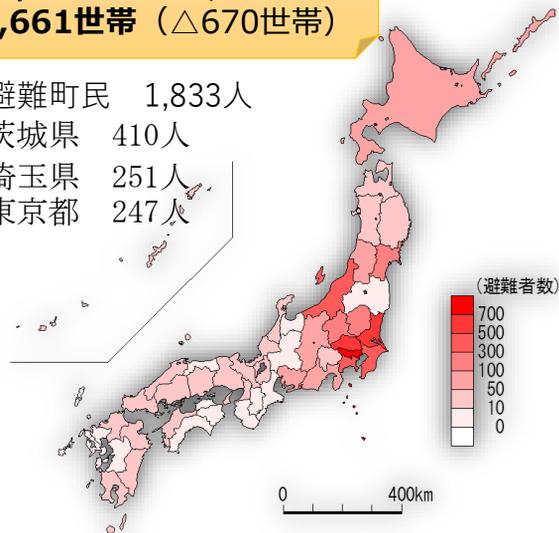
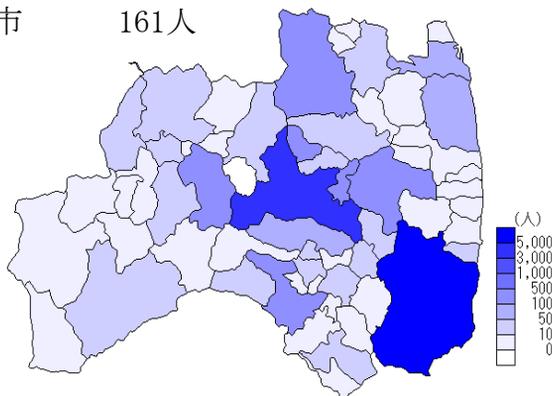
○世帯 6,331世帯→**5,661世帯**（△670世帯）

福島県内避難町民 7,894人

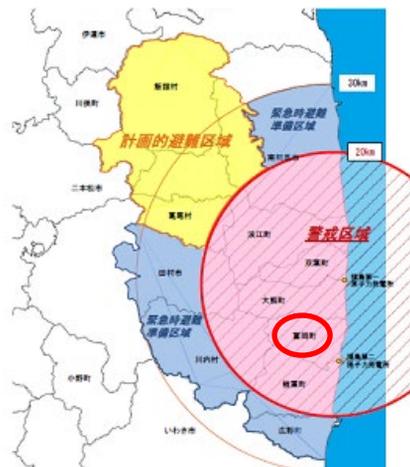
- ・いわき市 4,953人
- ・郡山市 1,680人
- ・福島市 161人

県外避難町民 1,833人

- ・茨城県 410人
- ・埼玉県 251人
- ・東京都 247人



警戒区域の解除及び避難指示区域の変遷①



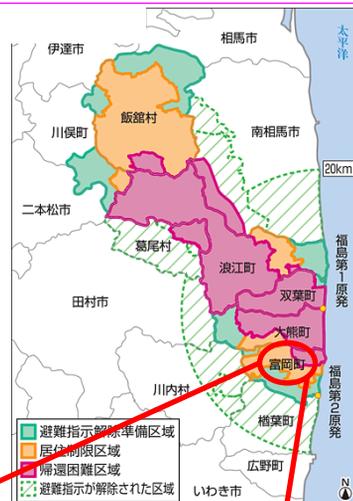
平成23 (2011) 年4月22日 設定

- ・警戒区域 (立入禁止)
- ・計画的避難区域 (立入禁止)
- ・緊急時避難準備区域 (緊急時避難)



平成24 (2012) 年4月1日 時点

- ・警戒区域 (立入禁止)
- ・計画的避難区域 (立入禁止)
- ・居住制限区域 (立入緩和)
- ・避難指示解除準備区域 (一時帰宅・事業再開)



平成25 (2013) 年3月25日 見直し

- ・帰還困難区域 (立入禁止)
- ・居住制限区域 (立入緩和)
- ・避難指示解除準備区域 (一時帰宅・事業再開)



区域見直し区分	
	帰還困難区域
	居住制限区域
	避難指示解除準備区域

区域	面積 (約)	人口割合 (約)
帰還困難区域 (50mSv/年 超)	8.5km ² (12%)	4,800人 (30%)
居住制限区域 (20mSv/年~50mSv/年)	34.0km ² (50%)	9,800人 (60%)
避難指示解除準備区域 (20mSv/年 以下)	26.0km ² (38%)	1,400人 (10%)

基本姿勢

どの道を選んでも、ふるさとに誇りを感じ
富岡のつながりを保ち続けられる町
これからも加わる仲間も
居心地よく親しめる地域をめざして

基本理念1

町民一人ひとりの『心』の復興

☆町民の生活再建と自立を支援し、町とのつながりを持ち続けられる環境を整えます。
☆仲間との笑顔、誇りと自信を心の中に取り戻し、未来の子どもたちに伝えていきます。

基本理念2

町民の心をつなぐ『ふるさと富岡』の復興

☆町民の心をつなぐふるさと富岡の復旧・復興を図ります。
☆生活・仕事・文化の再生と、将来の発展に向けた魅力ある拠点整備や土地利用を進めていきます。

どの道を選んでも、ふるさとに誇りを感じ、富岡のつながりを保ち続けられる町
これから加わる仲間も居心地よく親しめる地域をめざして

【基本理念1】

町民一人ひとりの“心”の復興

【基本理念2】

町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興

基本方針1 生活再建

個々によりそう暮らしの支援

『町民一人ひとりを支える心身両面サポート』



どうしようかな???

基本方針3 絆づくり

町や町民とのつながりを守り、育む

『将来にわたる町・町民との関係づくり』



みんなで頑張ろう!!

富岡町

基本方針5 実行体制づくり

復興に向けた

『みんなの支えあいと役割分担』

基本方針2 町内の復旧・復興

段階的かつ着実に進める
『暮らし・仕事・地域の復興』



基本方針4 情報発信

町民それぞれの立場に対応する
『正しく分かりやすい情報の発信』



- | | | |
|-------------|---------------------|---|
| 平成24（2012）年 | 1月
9月 | 富岡町災害復興ビジョン
富岡町災害復興計画（第一次） |
| 平成26（2014）年 | 3月 | 富岡町まちづくり計画 |
| 平成27（2015）年 | 6月
9月 | 富岡町災害復興計画（第二次）
富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン
～復興拠点整備計画～ |
| 平成28（2016）年 | 3月

9月
10月 | 富岡町帰町計画
富岡町保健・福祉アクションプラン
富岡町地域防災計画
人と町とのつながりアクションプラン |
| 平成29（2017）年 | 2月
12月 | 農業アクションプラン
富岡町帰還困難区域再生構想 |
| 平成30（2018）年 | 3月 | 富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画
(3/9内閣総理大臣認定) |
| 平成31（2019）年 | 3月 | 富岡駅前にぎわいづくりアクションプラン |
| 令和2（2020）年 | 3月 | 富岡町災害復興計画（第二次）後期
富岡町特定復興再生拠点区域 復興再生計画アクションプラン |



(令和2年3月策定)

富岡町災害復興計画（第二次）後期策定

計画策定から5年

福島復興再生特別措置法等の改正や
福島第二原子力発電所の廃炉決定、
急速な少子高齢化等
町を取り巻く状況が大きく変化。

令和2年3月、基本理念及び基本方針を踏襲しつつ、
これまでの取り組みや新たな課題の解決、持続可能な町づくりを目指す後期5か年の計画を策定

富岡町災害復興計画 （第二次）後期

令和2年3月

目指すべき姿：人が生き 町が活き 未来がいきる 富岡町

取り組み	5年後目標	取り組み	5年後目標	取り組み	5年後目標	取り組み	5年後目標	取り組み	5年後目標
観光客入込数	50,000人/年	インフラ復旧	特定復興再生拠点区域内完了	農業施設の整備	1か所	給食施設の整備	1か所	各種ツールの開催	2事業/年
避難者個別相談会	8回/年	町営住宅の整備 (特定復興再生拠点区域内)	供用開始	営農再開面積の拡大	280㏊ (水稲61㏊)	眼科及び歯科、調剤薬局再開	各1医療	移住相談者数	30組/年
公営住宅等の整備 (町内全域)	200戸	夜の森公園の整備	整備完了	新規就農者	2人/年	高齢者見守りネットワーク協定事業者	40事業者	移住専門誌等での情報発信	4回/年
特定空家等の把握	調査完了	広域幹線道路へのアクセス道路(町道等)の整備	2km完成	産業団地への企業誘致	確約面積90%	特別養護老人ホーム利用者	50人/年	子育て世帯奨励金交付	10件/年
自主防災組織	2地区設置	自動電気バス(EVバス)の導入	1台配備	新規起業家への支援	補助金交付開始	特定健康診査受診率の向上	52.5%	新規転入世帯	150世帯以上/年
面的除染	特定復興再生拠点区域外着手	防災教育の実施	1回/年	サケ稚魚の放流	150万尾/年	総合スポーツセンター利用者	21,000人/年	インターシップの受入	5人/年 (民間を含む)
ふくしま森林再生事業の推進	200%	フリーWi-Fi環境の整備	5か所	富岡漁港の活用推進	漁船:8隻	サークル団体の育成	30団体	町内居住者数	5,000人

- ・ 心穏やかな生活環境
- ・ 風化防止と風評の払拭
- ・ 過不足が生じない住環境
- ・ 花と緑あふれる町

- ・ 帰還困難区域再生構想の実現
- ・ 憩い・交流の場の創出
- ・ 災害に強い町
- ・ 情報通信網の充実

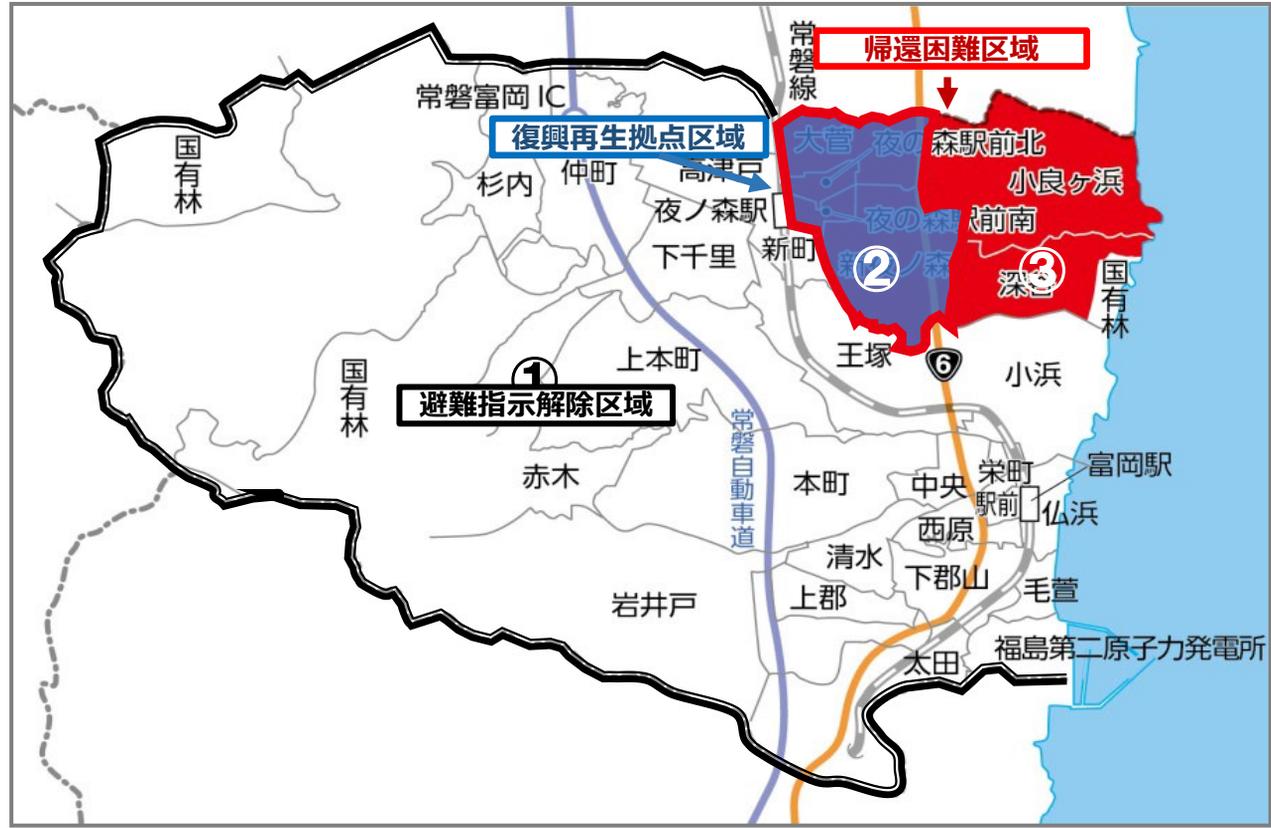
- ・ 農林水産業再生の礎
- ・ 雇用創出と地域経済の活性化
- ・ 人材の育成と確保
- ・ 再エネの推進

- ・ 学びの場の充実
- ・ 医療、福祉環境の確保
- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 放射線に対する正しい情報の発信による不安の解消

- ・ 町内居住者及び交流・関係人口の増加
- ・ 観光事業の強化による地域全体の活性化
- ・ 情報発信強化による町への理解と関わり

避難指示区域の変遷②

- 平成29（2017）年4月1日、帰還困難区域（赤着色部分）を除き避難指示を解除し帰町開始
- 平成30（2018）年3月9日、帰還困難区域内の復興再生拠点区域（青着色部分）を復興再生認定、令和5（2023）年春解除を目指し各種事業着手。



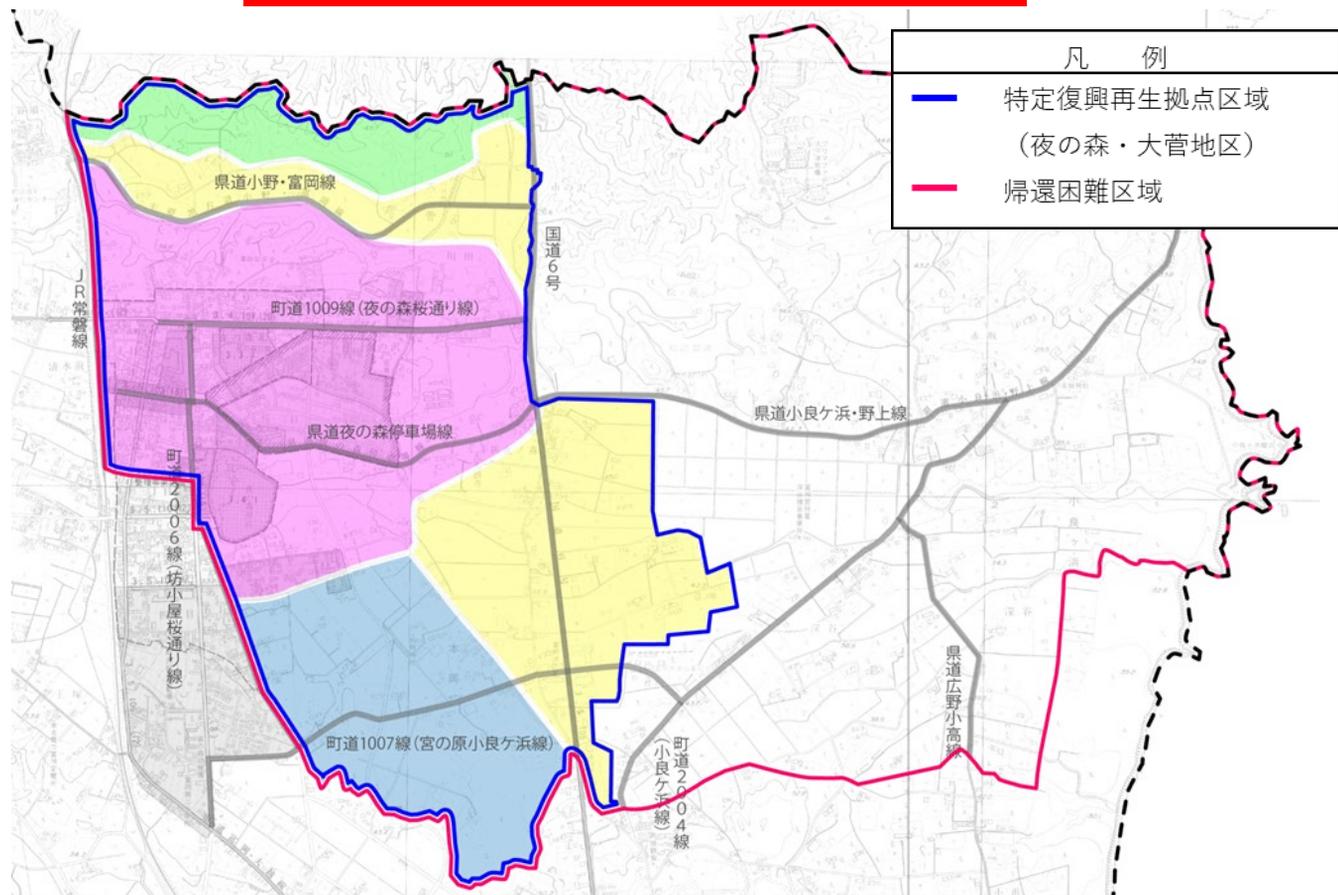
区域	面積	人口割合	世帯	解除時期
①避難指示解除区域	約60km ² (88%)	約11,380人 (71%)	約4,360世帯 (69%)	平成29年4月
②特定復興再生拠点区域	約3.9km ² (6%)	約3,890人 (24%)	約1,700世帯 (27%)	令和5年春目標
③帰還困難区域 (②除く)	約4.6km ² (7%)	約700人 (4%)	約300世帯 (5%)	未定
合計 (町全体)	約68.4km ²	約15,960人	約6,360世帯	-

●令和2（2020）年3月10日JR常磐線全線再開通に伴い、JR夜ノ森駅やアクセス道路の避難指示を先行解除



- 先行解除の範囲 ※駅までのアクセス道路のみ
- 特定復興再生拠点と避難指示解除済区域の境界
- 物理的措置(バリケード) ※状況に応じる
- ⊗ ゲート(移設・新設)

富岡町特定復興再生拠点区域の認定



概要

認定日	平成30年3月9日
面積	約390㍍(帰還困難区域の約半分)
期間	令和5年5月まで
避難指示解除の目標	令和5年春ごろ
居住人口の目標	約1,600人
事務所数の目標	約50者
営農者数の目標	約10者

計画の意義・目標

雇用・健康・福祉・教育・農業・交流をキーワードに帰還困難区域再生構想で示した「人と桜の共生ゾーン」、「沿道型商業活性化ゾーン」、「農用地活用ゾーン」、「森林再生モデルゾーン」の復興再生を図るために必要な整備・事業の実施をめざす。

人と桜の共生ゾーン

集積されたインフラを基盤とする良好な生活空間と桜をはじめとする四季折々の景観を楽しむ豊かな生活環境を提供する地区をめざす。

沿道型商業活性化ゾーン

地域住民をはじめ近隣町村の方々に加えて復旧・復興事業に携わる方々の安定した生活と生活利便性の向上のために、既存商業施設の事業再開や拡充、新たな商業施設の立地促進をめざす。

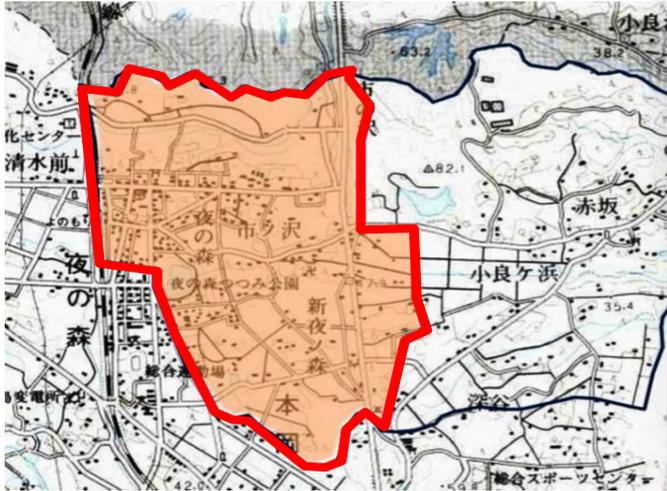
農用地活用ゾーン

営農再開にとどまることなく、集団営農化や農業法人化などによる新たな農業へのチャレンジ、あるいは、福島イノベーション・コースト構想に結びつく新たな産業集積など、農業を主体としながらも、あらゆる分野における産業が発展できる地域を目指します。

森林再生モデルゾーン

林業再生に向けた先駆的取組のモデル地区となることをめざし、林業関係団体等との協働による取組を模索する。放射線が及ぼす住民への健康的・精神的負担軽減のためにも、生活圏の緩衝エリアとしての活用も検討する。

特定復興再生拠点区域

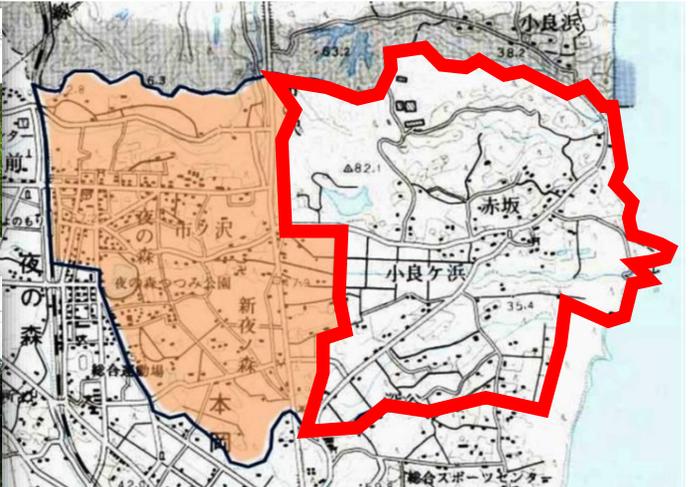


●特定復興再生拠点区域の解除に向けた協議等

- ・町は、目標とする令和5年春の解除に向け、地域の除染やインフラ復旧等を着実に進めるとともに、関係機関との協議を重ね、円滑な避難指示の解除に注力中
- ・町政懇談会の開催などにより、町民の皆さまに対して、避難指示解除に向けた取組を丁寧に説明しながら、広く意見を傾聴



特定復興再生拠点区域とならなかった区域



●当該地区の再生に向けた意見交換会等

- ・令和3年8月に「2020年代をかけて希望する全ての方が帰還できるよう取り組む」との政府方針が出されたが、具体は示されず
- ・町の姿勢「生活圏全体を除染した上での全域の避難指示解除」に変わりなし
- ・町としての土地利用の考え方などを示して地域の皆さまとの意見交換を継続中



①新たな産業の集積による雇用の創出【富岡産業団地の整備と企業誘致】



【産業団地の概要】
 規模：約35㍍²（うち、産業用地約21㍍²）
 ※特例工業団地に指定
 交通：国道6号沿い
 常磐自動車道常磐富岡IC 約9.0km
 常磐自動車道ならばスマートIC 約5.5km
 鉄道：JR常磐線富岡駅 約2.0km
 港湾：小名浜港 約50km
 相馬港 約70km

●全 体	24区画	・22.2㍍ ²
●立地決定	14社	21.4㍍ ²
●操業開始	3社	

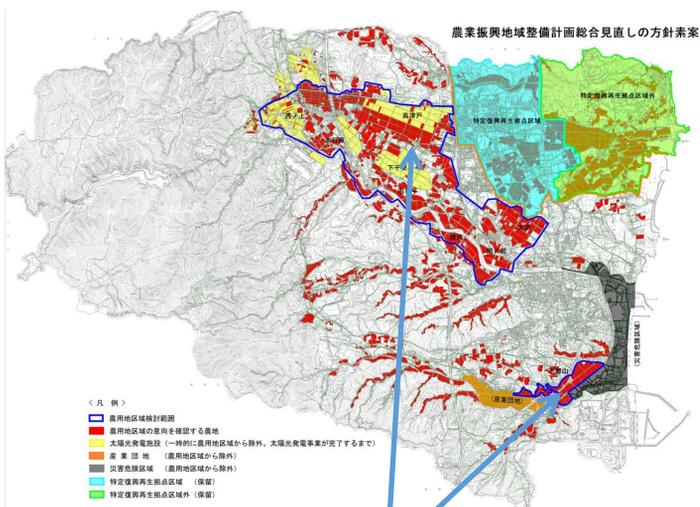


②新規就農者の育成を含めた農業復活へのチャレンジ

移住定住施策と連動した新規担い手の確保・育成の概要

- (1) 町外農業法人の町内参入への支援
補助率1/2、上限1,000万円
- (2) 町内での新規就農者への支援
生活費助成10万円/月+家賃助成上限7万円/月（最大2年間） **MAX408万円の支援**
- (3) 町内での農業研修への支援
生活費助成6万円/月+家賃助成上限5万円（最大2年間） **MAX264万円の支援**
- (4) 農業地域おこし協力隊
総務省制度を活用、給与21万円/月、福利厚生制度あり、農業を軸とした地域活動（六次化や特産品化を含む）により移住定住を促進
- (5) 支援制度の周知強化のための宣伝広告
・新聞及び移住者向け媒体へ広告掲載。（関東圏）高速道路SA等への広告設置

営農再開の方針（令和元年度策定）



②先行的に営農再開する地区

①農業・農地再生に向けた施策

- ①災害復興計画（第二次）【平成27年6月】に基づき、「農地の有効な活用による地域産業の再生」をめざすための環境整備を進めます。
- ②先行して営農再開する地区を下記のとおり定め、**営農再開目標面積を280ha**とします。
- ③当面の作付け普及品目は、**基幹品目である水稲**とします。
- ④土地改良施設の状況把握を行った上で、既存施設を再整備し、**安定的な農業用水の供給を確保**します。
- ⑤町内のため池について、**受益者の意見・要望の聞き取りをしながら、それぞれのため池の今後の方向性を検討**していきます。

①タイムリーな情報発信による将来の移住定住につながる交流人口拡大



町のシンボルである町民の誇りと心の支えである桜などの地域資源を有効に活用した交流・関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住定住ポータルサイト「とみおかくらし」を通して移住者の声を発信する。

②将来の移住につなげるお試し住宅の運営



【お試し住宅の概要】

- 利用対象者 町外に住所を有している方、町への移住を検討している方又は町地の交流・関係人口の創出が見込まれる方、移住体験プログラムに参加できる方 など
- 利用人数 最大6人
- 利用期間 5日以内
- 利用料 無料（食費や交通費、生活に必要な消耗品費などは自己負担）

☆お問い合わせ先 富岡町移住相談窓口「とみおかくらし情報館」
 ☎0240-23-6983
 営業時間 午前9時00分～午後5時00分

重点施策 1 「産業」、2 「くらし」、3 「教育」 15

①小中併設型 富岡小学校・富岡中学校、認定こども園、放課後児童クラブ

富岡町立第一富岡第一小学校、富岡第二小学校、富岡町立富岡第一中学校、富岡第二中学校は、令和4度から小学校1校と中学校1校にそれぞれ統合し、新たに「小中併設型・小中連携校 富岡小学校富岡中学校」としてスタート。



大友良英さんを招いた『教えない教育PinSプロジェクト』

◆スクールバス運行

全児童・生徒を対象としスクールバスを運行

◆教育費の無償化

町内の学校に通う児童生徒にも就学援助費を支援

(給食費、新入学生徒学用品費、学用品費、修学旅行費、校外活動費など)

◆プロの転校生が日常を共にする『教えない教育PinSプロジェクト』

各界の専門家を転校生として招き、プロの転校生と過ごす日常生活の中で子どもたちの洞察力や発想力を養う事業

平成31(2019)年に新たに開園したにこにここども園(認定こども園)では、毎日、子どもたちの元気な声が響き渡っている。



にこにここども園



今年度の入園式

共働きご家庭等の児童への遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るため、今年の春休みから放課後児童クラブ事業を開始しました。

◆放課後児童クラブ事業の開始

令和4年3月の春休みから、旧富岡第二小学校の体育館内に開設

◆恒久施設整備の計画

放課後児童クラブ施設は、旧富岡幼稚園敷地に令和6年春を目標に建設し、現施設から移転する予定



旧富岡第二小学校体育館に開設した放課後児童クラブ

②富岡町地域交流館 富岡わんぱくパーク【子育て支援施設】



富岡町地域交流館



- 子どもと保護者が安心できる教育環境を整えるため、子育て拠点として整備
- 富岡わんぱくパークは、子どもの体力向上や運動不足の解に加えて、子育て世代の交流を図る施設

令和3(2021)年3月28日 オープン

開館時間：10:00～18:00

休館日：毎週火曜日(祝日の場合は水曜日)

年末年始(※学校の長期休暇期間は開館)



【基本目標】

これまでの10年間で築き上げられた基礎に、一人ひとりの声を丁寧に聞きながら、確かな復興を積み上げる

人が人を呼び込む流れを町内に築き、その広がりをもって地域全体のにぎわいを形作る「帰還と移住の促進」

帰還・移住希望者への支援に対する取組の強化

◆移住・定住の推進

- 住まい確保支援事業 3,410万円
- お試し住宅運営事業 1,810万円
- 定住促進化対策住宅助成金事業 8,000万円
- 住宅用新エネルギーシステム導入支援事業 1,340万円

◆交流人口の拡大

- サテライトオフィス整備事業 4,840万円
- 雑誌読者モニターツアー事業 550万円
- 福島美少女図鑑撮影会事業 510万円

◆町営住宅の整備

- 住宅維持補修費 4億1,071万円
- ※新田町営住宅の機能回復



新田団地



移住相談窓口
「とみおかくらし情報館」



福島美少女図鑑の撮影

「今の富岡町」に触れていただける機会の創出

◆富岡を体験する事業の実施

- 移住体験ツアー事業 710万円
- 富岡の海を知る体験事業 500万円



保全や活用を検討する
桜並木

◆観光資源の保全・情報発信

- 夜の森公園整備費 2億4,350万円
- 桜保全事業 2,036万円
- 動画制作・情報誌掲載等情報発信事業 1,316万円

町内施設の活かな事業展開を推進

◆町内施設の運営

- 共生型サポートセンター運営費 1億7,168万円
- 地域交流館運営費 3,569万円
- アーカイブミュージアム運営費 7,827万円
- 文化交流センターホール運営費 2,746万円



アーカイブ・サマースクール

需要と供給を高め、地域経済を好循環させる「農業と産業の育成」

農業へのチャレンジを支援

◆営農再開を支援

- 営農再開支援事業 2億5,894万円
- 水稲作付奨励事業 1,960万円
- 水稲種子購入支援事業 25万円

◆農業者を支援

- 農業ステップアップ支援事業 1,500万円
- がんばる農業支援事業 1,250万円

◆農業復興対策

- 担い手確保・育成事業 3,368万円
- ふれあい農園運営事業 960万円



町外農業法人による
トマト実証栽培



レーザーレベラーでの
均平化作業

地域産業の活性化への取組

◆農業と商工業の連携

- 観光協会運営補助金 2,800万円
- ※朝市の開催、特産品掘り起し等

◆イベントの開催

- 桜まつり・夏祭り等事業 3,582万円



令和元年の夏祭り

農業・商工業施設を整備

◆施設の整備

- 野菜集出荷施設整備事業 13億6,088万円
- 商業拠点施設整備事業 2億9,146万円
- 産業団地整備事業 4,084万円



今年稼働する
カントリーエレベーター

自ら考え行動し、進んで楽しく学ぶ子どもを地域で育てる「子どもたちの環境づくり」

子どもと保護者が安心して子育てできる環境を整える

◆子育て環境の整備

- 放課後児童クラブ運営費 4,875万円
- 認定こども園運営費 4,761万円
- 学校給食管理事務諸経費 3,193万円
- 子育て世帯定住促進事業 2,028万円
- ICT学習支援事業 1,348万円
- 地域学校協働活動事業 240万円



ふれあい農園収穫祭



こども園の発表会

◎ 町内の居住者数

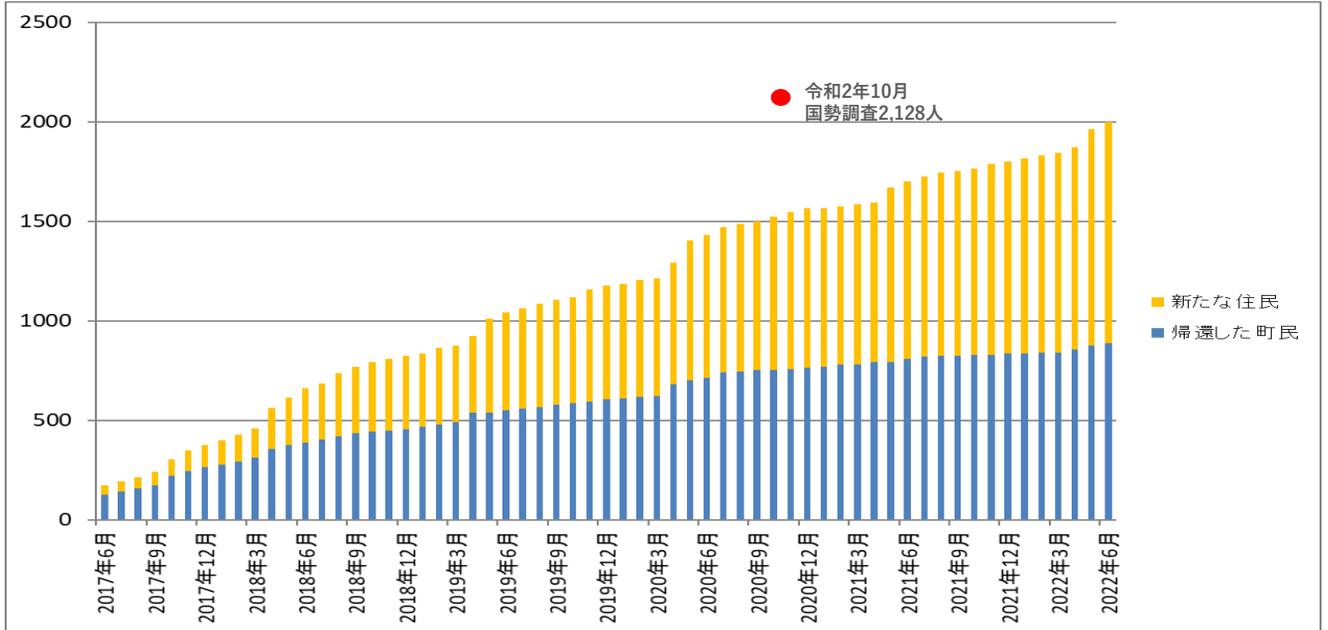
(令和4年11月1日現在)

震災時15,961人 6,360世帯 → 住民登録数(避難者含む)11,805人 5,661世帯
うち町内居住者 2,077人 1,462世帯

※参考 令和2年10月国勢調査 2,128人

(富岡町災害復興計画(第二次)後期 令和7年3月末目標 5,000人)

町内居住者推移(住民登録上の数)



◎ 町内の児童数

(令和4年10月1日現在)

① 認定こども園の園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	前年同月比
園児数	3人	10人	8人	14人	12人	8人	55人	+17人

② 富岡小学校の児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年同月比
児童数	9人	7人	7人	4人	10人	3人	40人	+3人

③ 放課後児童クラブ(旧富岡第二小学校の体育館)利用登録者数

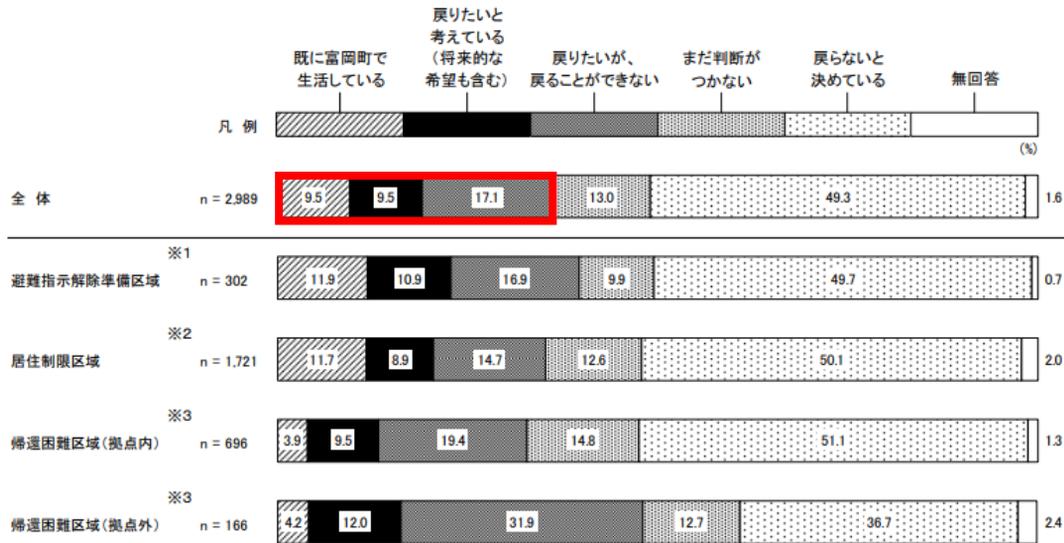
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年同月比
登録者数	5人	6人	4人	3人	4人	1人	23人	-

④ 富岡中学校の生徒数

	1年	2年	3年	計	前年同月比
生徒数	8人	9人	5人	22人	-1人

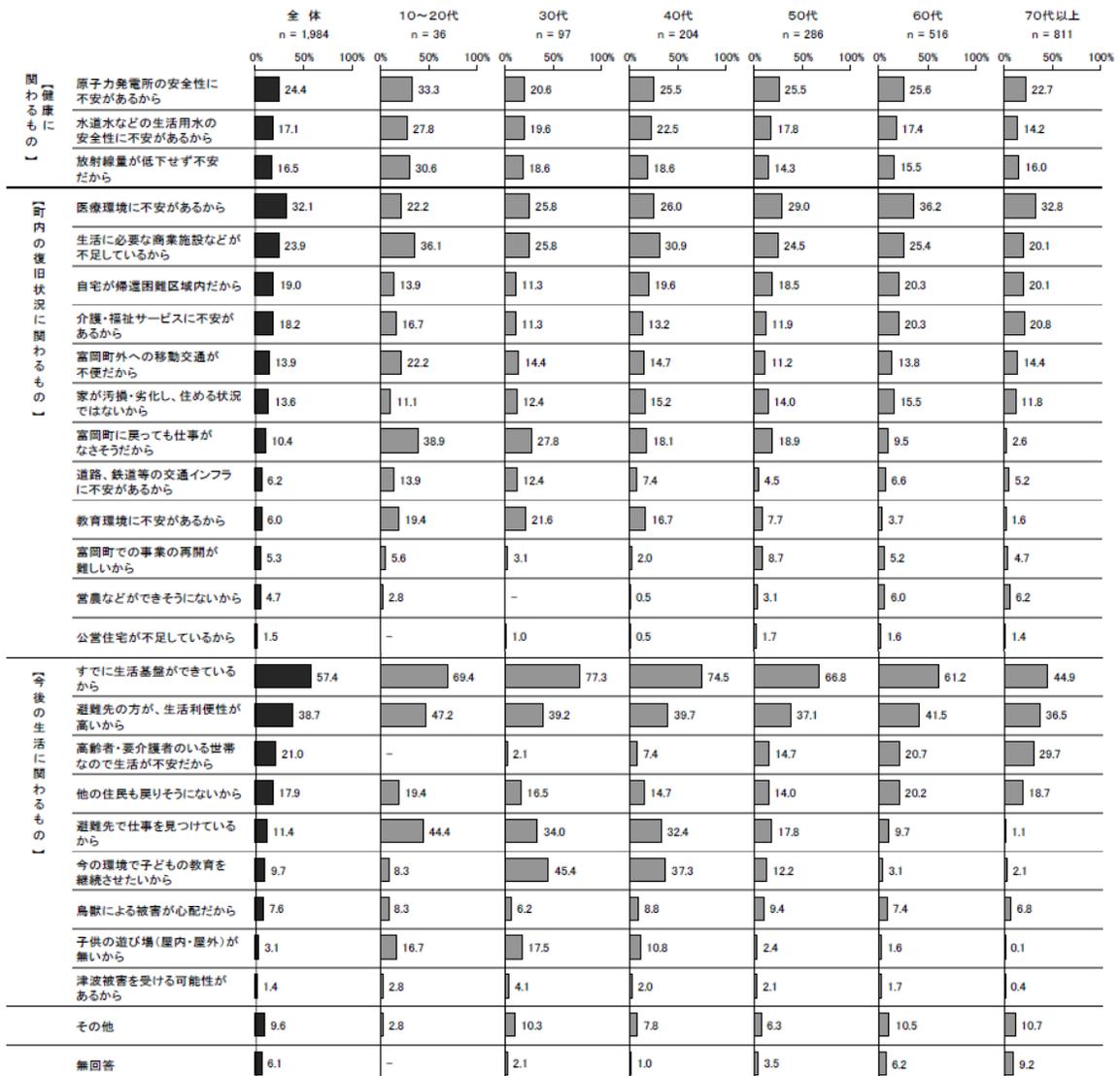
データで見る町内の状況

◎富岡町への帰還意向（令和3年度住民意向調査【復興庁・福島県・富岡町】）



※1 ※2 平成29年4月1日解除済
 ※3 拠点とは特定復興再生拠点のこと

※富岡町に「戻ることが出来ない・帰還しない」(年齢別)



データで見る町内の状況

◎ 町内農業状況

1 農業用施設の整備

【カントリーエレベーター】

- ・ 150畝規模の米の乾燥・貯蔵施設
- ・ 今年産米から稼働
- ・ 管理運営者：JA福島さくら

【野菜（タマネギ等）集出荷施設】

- ・ カントリーエレベーター西隣に整備予定
- ・ 80畝規模のタマネギの乾燥・貯蔵施設
- ・ 造成工事着工済み、令和6年春稼働予定



令和4年産米から稼働したカントリーエレベーター



野菜集出荷施設の敷地造成工事

2 営農再開の状況

(令和4年5月現在)

	水稲	その他	合計
町内農業者など	13件 66.0畝	14件 50.3畝	27件 116.3畝
町外農業者	2件 20.1畝	5件 31.7畝	7件 51.8畝
合計	15件 86.1畝	19件 82.0畝	34件 168.1畝



小学生の稲刈り体験（令和4年産米）



管理耕作によるナタネの作付け



普及品目タマネギの収穫



マッチングの風景

※新たな農業へのチャレンジ

①震災直後から始めた「とみおかワイン栽培」
現在、収益化を目指し奮闘中！！

②新たな6次化産業
「パッションフルーツ」
続々と新商品化を展開中



有志10名で苗の植樹スタート



葡萄園場の風景



出荷前のパッションフルーツ

データで見る町内の状況

◎町内の商業状況

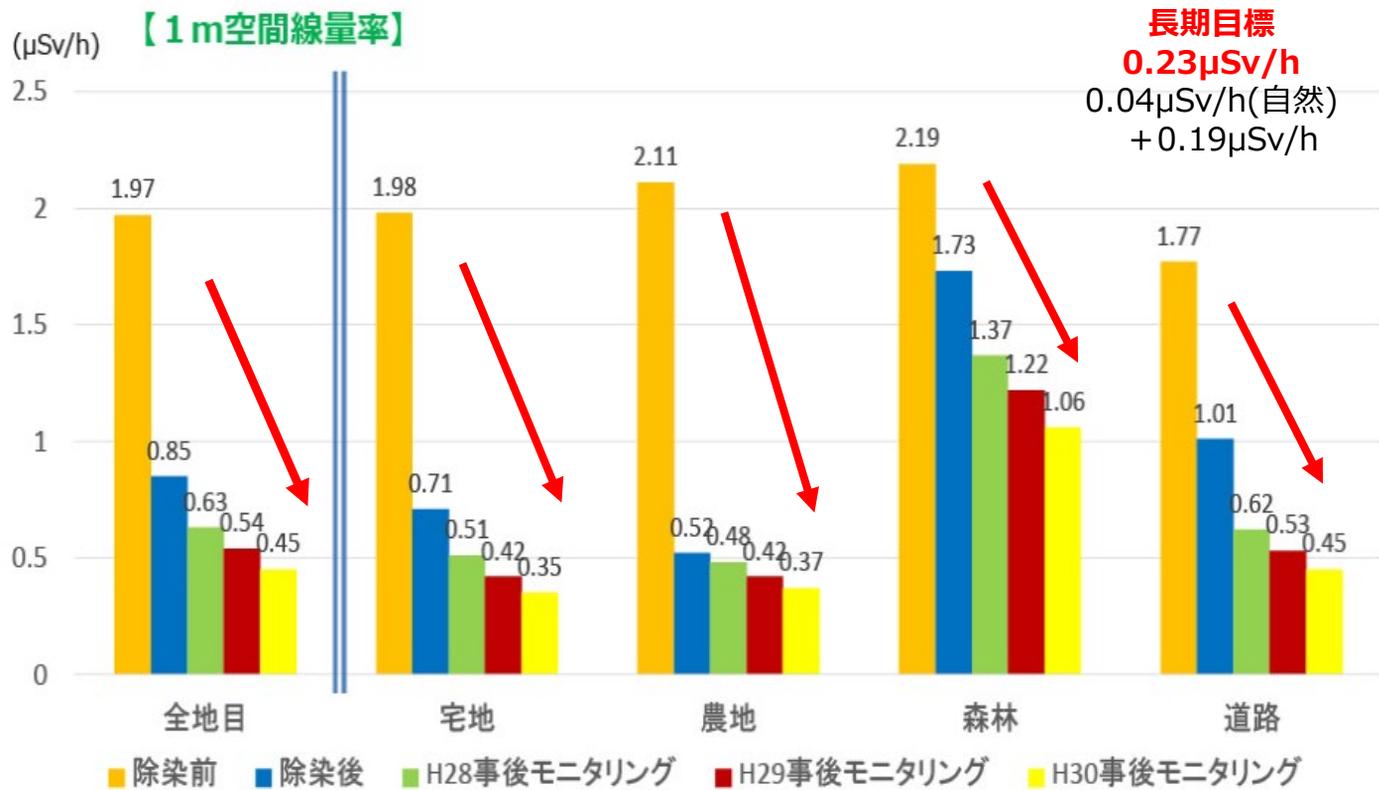
富岡町の事業再開件数

富岡町内事業所数 707社 → 224社 (令和4年4月20日時点)

※商工会会員の町内開業数179社をベースに推測した数

◎町内の空間線量率 (避難指示解除区域の生活圏域)

地目	除染前	除染作業 + 自然減衰	H30年度調査
全地目	1.97 μ Sv/h		0.45 μ Sv/h
宅地	1.98 μ Sv/h		0.35 μ Sv/h



放射線リスクコミュニケーション活動



除染検証委員会の開催



自家消費野菜等の放射能測定検査の実施



漁船の帰港 (令和元年7月)



8年ぶりの稲刈り (令和元年9月)



移動図書館の開始 (令和2年7月)



JR夜ノ森駅待合室の完成 (令和2年11月)



一大産地化をめざすたまねぎの収穫 (令和3年6月)



アーカイブ・ミュージアム開館 (令和3年7月)



カントリーエレベーターの稼働開始 (令和4年9月)



わんぱくパークのオープン (令和3年3月)



移住相談窓口「とみおかくらし情報館」のオープン (令和4年3月)



JR富岡駅前に移転した観光協会 (令和4年2月)



サケふ化施設の稼働開始 (令和4年3月)



特別養護老人ホーム「桜の園」 (令和4年3月)



あさいちマルシェの開催 (令和3年9月)

トータルサポートセンターとみおか (令和4年4月)



富岡町公式Facebook



とみっぴーFacebook



とみおかアーカイブ
ミュージアムFacebook



富岡町公式チャンネル



富岡町公式アカウント



とみおかアプリ

「とみっぴーラジオ」放送中！

ラジオ福島・毎月第2火曜日
午後2時10分～午後2時20分



『コミュニティ広場』で利用者同士で自由な情報交換



- 富岡町ホームページ : <https://www.tomioka-town.jp/>
- 富岡町移住定住ポータルサイト : <https://www.tomiokakurashi.com/>
- とみおか放射線情報まとめサイト : <https://tomioka-radiation.jp/>
- 富岡町文化交流センター 学びの森 : <http://www.manamori.jp/>
- とみっぴーラジオ：ラジオ福島（毎月第2火曜日、14：10～14：20）

未来へと つながれ ひろがれ 富岡町



富岡町役場

- 本庁舎 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1
☎0240-22-2111
- いわき支所 福島県いわき市平北白戸字宮前8
☎0246-88-1987
- 郡山支所 福島県郡山市大槻町字原ノ町49-1
☎024-983-9021